



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
「町の未来をこの手でつくる 紫波町オガールプロジェクト」 猪谷千香 著(幻冬舎)



マーチィに訊け!への記事執筆のため本を探していると、幻冬舎からまちづくりを扱った書籍が。表紙を見てみると「オガールプロジェクト」と、聞き覚えのない言葉に首をひねりつつ、そのレビューの高評価に興味を引かれ早速、本書を注文してみた。

帯には「駅前の空き地が広場と図書館に」、「今や県内第2位の地価上昇率」、「駅前エリアには年間90万人以上が訪れる」などとある。駅前に、よくある交流拠点を作っただけでそんな風に町が生まれ変わるのかと、まちづくりをかじりだした私の頭にはどんどん猜疑心が溢れてきたが、読み進めていくうちにその疑問はどんどんと晴れていった。

登場人物の一人、岡崎氏は旧・地域振興整備公団(現・都市再生機構)で実際の都市再生を手がけていた専門家だ。その岡崎氏が公職時代の「失敗」を活かし、紫波町のまちづくりを手がけていく。都市計画に携わった人間にはお馴染みの、土地区画整理事業や中心市街地活性化などを、どこも同じ町ができる「制度によるまちづくり」とバッサリと切り捨て、公民連携による補助金に頼らないまちづくりを進めていく。公務でまちづくりに携わる方には是非読んでもらいたい一冊だ。

今号のおすす
めライブラリー
こちら!



マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

吉岡町 産業建設課 谷川真希夫



谷川真希夫さん(1番右)



講座の様子

皆さんこんにちは。元まちい〜ズの谷川です。

私は平成28年度に人事交流派遣職員として群馬県都市計画課でお世話になることとなり、そこで「魅力あるまちづくりのパートナーネットワーク講座」に参加させていただきました。本講座はまちづくりのリーダーを育成することを目的としており、ファシリテーターに必要な技能を修得することができます。講座は入門編・発展編・応用編とそれぞれ2日間の計6日で開催され、発展編・応用編では実際に自らの足でまちなかを歩き、午後はワークショップ形式で講座は進められます。

そのため、ただ聞いているだけの講座ではなく実際に自分の手足頭をフル活用するので、講座が終わる頃にはぐったりなんてこともありました(笑)

これまでワークショップに参加した経験がほとんどなかったため、実際にファシリテーターが務まるのか不安でしたが、いざやってみて参加者の意見の引き出し方や発言しやすい雰囲気を持続して進めていく難しさを知るとともに、大下先生のご指導の下でファシリテーションの様々な技術を学ぶことができました。また、講座を通じて他市町村の職員や民間企業の方々とネットワークを構築できたことは、今後の行政業務を円滑に進めていく上で大きな財産になったと感じています。

パートナーネットワーク講座は大下先生をはじめ事務局の方々の力もあり、終日楽しい雰囲気で行われますので、ぜひ参加してみてくださいはいかがでしょうか。

マーチィの掲示板

国土交通大学校に行ってきました。

群馬県都市計画課まちづくり室景観形成係の淡嶋です。

2017年7月3日から7月14日までの10日間、東京都小平市の国土交通大学校で「景観・屋外広告物行政研修」を受講いたしました。

講義では、景観法や屋外広告物法等の基本法令を学び、景観の基礎理論や景観と屋外広告物デザインのあり方等の景観・屋外広告物行政に必要な基礎知識を習得することができました。また、現地見学では横浜市内を歩き、景観の理論がどのように活用されているかを解説していただき、その整備効果を体験することで、より具体的に景観形成の成功例を学ぶことができました。

研修には、全国の自治体から43名が参加しており、各自自治体の様々な施策を知ることができ、大変勉強になりました。

今年度から、群馬県の景観行政に携わることとなり、改めて群馬県の景観について意識するようになりました。そして、今回の研修に参加したことにより、更に景観に係る理解を深めることができました。今回習得した知識を群馬県景観行政の施策に生かせるように、取り組んでいきたいと思っております。

